

広島県告示第455号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成27年7月16日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	大阪府大阪市北区梅田三丁目4番5号 株式会社ダイセル 代表取締役社長 札幌 操
工場又は事業場の所在地及び名称	大竹市東栄二丁目1番4号 株式会社ダイセル大竹工場

2 申請の内容

33-ニ 合成樹脂製造業の用に供する静置分離器1基及び37-ロ 石油化学工業の用に供する分離施設1基を新設する。また、33-ニ 合成樹脂製造業の用に供する静置分離器1基及び37-ロ 石油化学工業の用に供する分離施設1基の使用の方法を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1) 新設

種	類	33-ニ 合成樹脂製造業の用に供する 静置分離器 (フィルタートウ製造施設OFT-3 (廃液デカンター))	37-ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 (エポキシ化動植物油製造施設Z-30 (K360))
能	力	排水量123 m ³ /日	排水量7.2 m ³ /日
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに	許可後直ちに
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後30日	着手後10日
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	平成28年9月	完成後1日

使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)	
	項目		通常	最大	通常	最大
排出される 汚水等の状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		10~12	10~12	7	7
	(単位: mg/L)	化学的酸素要求量	700	730	1,600	3,200
		浮遊物質	1	1	5	10
		窒素含有量	0.1	1.0	0.0	0.0
		燐含有量	0.1	1.0	0.0	10.0
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	20	30	-	-
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		123	123	7.2	7.2	
汚水等の排出先		第二排水口		第二中和槽		

(その2) 変更

		変更前	変更後		
種	類	33-ニ 合成樹脂製造業の用に供する静置分離器 (フィルタートウ製造施設OFT-2 (S-555 廃液デカンター))			
能	力	排水量410 m ³ /日	排水量287 m ³ /日		
工期等	工事着手予定年月日	-	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		着手後直ちに		
	使用開始予定年月日		平成28年9月		
使用の方法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	通常 410	最大 410	通常 287	最大 287
	汚水等の排出先	第二排水口			

(その3) 変更

	変更前	変更後

種	類	37-ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 (エポキシド製造実験設備X-20 (K-880))						
能	力	排水量118.2 m ³ /日			排水量111.0 m ³ /日			
工期等	工事着手予定年月日	-			許可後直ちに			
	工事完成予定年月日				着手後直ちに			
	使用開始予定年月日				完成後直ちに			
使用の方法	排出される汚水等の状態	項 目		通常	最大	通常	最大	
		化学的酸素要求量	(単位：mg / L)	6,000	6,000	5,350	5,350	
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		107.4	118.2	100.2	111.0		
	汚水等の排出先		第三中和槽					

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 変更

		変 更 前				変 更 後					
種	類	第二中和槽									
工期等	工事着手予定年月日	-				許可後直ちに					
	工事完成予定年月日					着手後直ちに					
	使用開始予定年月日					完成後直ちに					
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状態	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		化学的酸素要求量	(単位：mg/L)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	化学的酸素要求量	(単位：mg/L)	62	176	62	176	69	190	69	190	
	燐含有量	(単位：mg/L)	4.5	109.3	4.5	109.3	4.5	108.8	4.5	108.8	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		1,500.9	1,577.2	1,500.9	1,577.2	1,508.1	1,584.4	1,508.1	1,584.4		

(その2) 変更

		変 更 前				変 更 後			
種	類	第三中和槽							

工期等	工事着手予定年月日		-				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日						着手後直ちに				
	使用開始予定年月日						完成後直ちに				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状態	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	2,602	2,673	2,602	2,673	2,557	2,629	2,557	2,629
		窒素含有量		172	404	172	404	173	406	173	406
	磷含有量	0.8		3.9	0.8	3.9	0.8	3.8	0.8	3.8	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		1,931.8	2,172.6	1,931.8	2,172.6	1,924.6	2,165.4	1,924.6	2,165.4		

(その3) 変更

		変 更 前				変 更 後					
種 類		第四排水処理施設									
工期等	工事着手予定年月日		-				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日						着手後直ちに				
	使用開始予定年月日						完成後直ちに				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状態	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	2,048	2,189	219.4	362.6	2,016	2,157	216.0	357.3
		窒素含有量		206	494	83.4	192.7	207	496	83.8	193.4
	磷含有量	0.7		3.2	0.2	1.3	0.6	3.2	0.2	1.3	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		2,846.6	3,115.7	2,846.6	3,115.7	2,839.4	3,108.5	2,839.4	3,108.5		

(その4) 変更

		変 更 前				変 更 後			
種 類		第六排水処理施設 リン処理施設							

工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日		-				許 可 後 直 ち に			
	工 事 完 成 予 定 年 月 日						着 手 後 直 ち に			
	使 用 開 始 予 定 年 月 日						完 成 後 直 ち に			
使 用 の 方 法	処理前処理後の 汚水等の汚染状 態	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
			通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大
		化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	168.9	264.2	168.9	264.2	168.0	262.8	168.0
	窒 素 含 有 量		33.1	111.9	33.1	111.9	33.2	112.1	33.2	112.1

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成27年7月16日から平成27年8月6日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所環境管理課並びに大竹市市民生活部環境整備課